

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【公開番号】特開 2016-195624 (P2016-195624A)
 【公開日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-065
 【出願番号】特願 2015-75678 (P2015-75678)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御するメイン制御手段を備え、

前記メイン制御手段は、特別遊技状態の開始条件を満たしたことに基づいて、特別遊技状態を開始するように制御し、

特別遊技状態では、特別役物が作動するように制御し、

特別役物の作動は、予め定められた所定の終了条件を満たしたときに終了するように制御し、

特別遊技状態において特別役物の作動中に前記所定の終了条件を満たしたときは、特別役物の作動を終了し、所定時間のウェイト処理を実行した後に、再度、特別役物が作動するように制御し、

前記メイン制御手段は、前記所定時間よりも短い時間間隔で割り込み処理を実行し、

特別遊技状態において特別役物が作動しているときに実行される割り込み処理では、特別遊技状態であり、かつ、特別役物が作動していることを示す試験信号を出力するための処理を実行可能とし、

特別遊技状態において前記ウェイト処理中に実行される割り込み処理では、特別遊技状態であり、かつ、特別役物が作動していないことを示す試験信号を出力するための処理を実行可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

従来技術において、1 B B 遊技中（特別遊技状態）に R B 遊技（特別役物の作動）を繰り返す（1 B B 遊技中に R B を連続作動させる）仕様のスロットマシンが知られている。

この場合には、規則上、特別役物は、遊技回数又は入賞回数が所定回数に到達したときに終了させることが必要である。そして、特別遊技状態において特別役物を連続して実行

する場合、特別役物の作動終了と再度の作動開始とを明確に区切り、それを試験機側に送信可能にする必要がある。

本発明が解決しようとする課題は、特別遊技状態において特別役物の作動を繰り返す仕様のスロットマシンにおいて、特別役物の作動終了と再度の作動開始とを明確にした試験信号を出力可能とすることである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

請求項 1 の発明は、

遊技の進行を制御するメイン制御手段（メイン制御基板 60）を備え、

前記メイン制御手段は、特別遊技状態の開始条件を満たした（1BBに当選し、1BBが入賞した）ことに基づいて、特別遊技状態（1BB遊技）を開始するように制御し、

特別遊技状態では、特別役物（RB）が作動するように制御し、

特別役物の作動は、予め定められた所定の終了条件（遊技回数又は入賞回数が 2 回に到達したとき）を満たしたときに終了するように制御し、

特別遊技状態において特別役物の作動中に前記所定の終了条件を満たしたときは、特別役物の作動を終了し、所定時間（5 割込みに相当する時間（11.175（ms））のウェイト処理（2 バイト時間待ち処理（R_2BYTE_WAIT））を実行した後に、再度、特別役物が作動するように制御し、

前記メイン制御手段は、前記所定時間よりも短い時間間隔（2.235（ms））で割り込み処理を実行し、

特別遊技状態において特別役物が作動しているときに実行される割り込み処理では、特別遊技状態であり、かつ、特別役物が作動していることを示す試験信号（「00011000」）を出力するための処理を実行可能とし、

特別遊技状態において前記ウェイト処理中に実行される割り込み処理では、特別遊技状態であり、かつ、特別役物が作動していないことを示す試験信号（「00001000」）を出力するための処理を実行可能とする

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、ウェイト処理を用いて、特別役物の作動/非作動を明確に示す試験信号を（試験機等に）送信することができる。